

2020年8月25日

関係者各位

関東大学女子バスケットボール連盟
会 長 八木 陽子

第70回記念関東大学女子バスケットボールリーグ戦の開催について

新型コロナウイルスの感染によるさまざまな問題が社会に重くのしかかる状況の下、当連盟では、8月18日に臨時理事会を開催し、リーグ戦について検討いたしました。その結果、可能な限りの感染予防対策を講じた上で、次の点を考慮し、例年とは大きく異なる様式での開催を確認いたしました。

(1) 加盟校の中には十分な練習期間がとれない状況があることから、例年8月下旬からの開催を遅らせ、9月19日を開幕とする。

(2) 1つひとつのゲームを成立させることを第一義に置き、感染拡大防止の観点から、必要最小限の人数でゲームを実施する。そのため無観客試合とし、会場の様態に応じて関係者の人数も制限する。

(3) ゲーム中各クォーターで5分が経過した後、計時が止まったら30秒間の「メディカル・タイムアウト」を設け、手指消毒をした上で、水分補給を行い感染予防・熱中症予防をする。

(4) 感染の疑いが出たチームが保健所等の指示に従って速やかに拡大防止策を講じた場合、直ちに棄権や没収にするのではなく、当該試合の予定された日程を変更するなどの柔軟な対応によって、可能な限りゲームを成立させる努力をする。このことによって、感染の疑いが出たチームが躊躇なく休むなどの感染対策を講じることができる環境を整える。

(5) 例年、加盟校の体育館を借用して実施していたが、キャンパス内での感染リスクを抑えるため、これを最小限に留め、十分な感染予防対策を講じている公共の体育館に協力を仰ぎ、それぞれの体育館の方針に従いながら開催する。

(6) 加盟校の置かれている状況が著しく異なることから、昇格や降格を行わない。このことは、感染の疑いが出た場合に、プレーヤー個人にその負担を背負わせることのない環境を整えることに資する。

(7) 各部各ブロック内での1ゲーム総当たり戦を実施し、順位を確定させることを目標とする。しかし、途中で緊急事態宣言が発出されるなどの状況が生じ、その後のゲームを開催する見通しが立たなくなった場合は、全ての部で順位を確定させない。

(8) 今シーズンは、通常とは異なる状況下でのリーグ戦なので、順位が確定できたとしても来年度以降のリーグ再編にその順位を利用しない。

(9) インカレへの推薦については、リーグ戦の運営状況を見て理事会で協議する。

なお、今後の感染拡大の状況によっては、以下の2点を判断の基準に大会を延期または中止することがあります。

- 1) 国および1都7県で緊急事態宣言が発出されているか
- 2) 1都7県で移動の制限が出されているか

また、今後の諸活動において、加盟校の関係者にウイルス感染者が出た場合、感染拡大防止の観点から、適切かつ速やかに以下の連絡・対応のご協力をお願いいたします。

- ① 自チーム内で感染の疑いが出た場合や、使用されている施設等で感染者（他競技を含む）が出て自チームの関係者の中に感染の疑いがある者がいる場合、速やかに当連盟に連絡し、状況報告をすること
- ② ①の状況が生じた場合、練習や練習試合等の活動において、派遣審判など自チーム以外の関係者に濃厚接触の疑いがある場合には、その関連部署（例：都県協会審判委員会）にも連絡し、状況報告をすること

安心・安全なリーグ戦開催に向け、連盟一丸となって取り組んでまいります。あくまでも、プレーヤーの意思を尊重し、参加を無理強いしたりすることのないよう、何とぞご協力のほど、お願い申し上げます。